

2007年7月19日  
「ODAサロン」用発言メモ

## 「国際協力（ODA）の現場と国民理解」

田中 辰夫  
（財）国際協力推進協会専務理事  
（元パプアニューギニア大使）

### I 国際協力／ODAに関して初の本格的な世論調査を実施

1. 2007年3月、インターネットによる世論調査専門会社、（株）インテージ・インターラクティブに委託して、「一般国民」を対象に国際協力／ODAに関する世論調査を実施した。（今後毎年、継続実施の予定。）
2. 世論調査の主な結果
  - （1）国際協力関連用語の認知度
  - （2）国際協力関係用語のイメージ
  - （3）情報源

### II ODA 現場での経験から見た感想

以上の世論調査の結果、ならびに私の海外での ODA 現場での経験から、「マニフェストたたき台」の議論へお役に立つように、その中で取り上げられている諸点のうち4点に関連して感想を述べると、次の通りである。

1. 「国民の理解」（たたき台4項）に関連
  - －ODA実施の「ヒューマン・ファクター」部分を強調することが重要であろう。
2. 「ODA 予算」（たたき台7項）に関連
  - －「ODA予算も聖域ではない」との所論は誤りである。
3. 「民間セクター」（たたき台8項）に関連
  - －日本のNGO／NPO活動にとってODAがもっと使い勝手の良いものにすべきであろう。
4. 「人材育成」（たたき台9項）に関連
  - －先方政府の政策決定過程への人材の派遣も検討すべきである。

（以上）